

産業競争力強化対策特別委員会記録

<p>1 会議の日時</p>	<p>令和3年 5月11日</p> <p>開 会 午前 9 時 57 分</p> <p>閉 会 午前 11 時 00 分</p>	
<p>2 会議の場所</p>	<p>第2会議室</p>	
<p>3 出席者</p>	<p>委 員</p>	<p>委員長 岩井 豊太郎 副委員長 平岩 正光 委員 伊藤 正博 渡辺 嘉山 (小川 恒雄) 松村 多美夫 田中 勝士 広瀬 修 恩田 佳幸 山内 房壽 安井 忠</p> <p>※()は欠席委員</p>
<p>4 事務局職員</p>	<p>執 行 部</p>	<p>別紙配席図のとおり</p> <p>主 査 水谷 昭之 主 査 早野 ひとみ</p>

5 会議に付した案件

件名	審査の結果
1 令和3年度重点調査項目等について	原案通り
2 令和3年度所管事務事業の説明聴取について	
3 令和3年度委員会活動について	正副委員長に一任
4 その他	

6 議事録（要点筆記）

○岩井豊太郎委員長

ただいまから、産業競争力強化対策特別委員会を開会する。

最初に、当委員会の運営について、委員会が所管する特定分野の中から、テーマを絞り込んだうえで、正副委員長の主導のもと、調査検討を行うものである。当初、昨年度までの二年間を目途に委員会として一定の提言を行うことを目指すこととしていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、視察を始めとした調査が十分できない状況にあることを踏まえ、調査期間が4年程度に延長されたところである。委員の皆様におかれては、積極的なご審議をお願いする。

さて、本日の委員会は、当委員会に調査を付託されている「産業競争力強化対策」に関する事務事業について、執行部の説明を聴取するため、開催したものである。

初めに、当委員会の「本年度の重点調査項目」については、5月7日に開催された正副委員長会議において、お手元に配布した会議資料「別紙」のとおり、「産業競争力強化対策の推進に関すること」に決定されたので、ご承知おき願う。

次に、本年度の具体的な調査項目についてであるが、お手元に配付してある資料のとおり、「県内産業における生産性向上及び高付加価値化に関する調査」並びに「多様な人材の活躍に関する調査」について、参考人招致や先進地視察を積極的に行い、調査していきたいと思うが、いかがか。

（「異議なし」の声あり）

○岩井豊太郎委員長

意見等もないようなので、本年度は、案のとおり調査していくことに決定した。それでは、重点調査項目を踏まえ、調査項目にかかわる所管事務事業について、執行部より説明願う。また、執行部の紹介もあわせてお願いする。なお、本日の説明員の出席については、重点調査項目を担当する部局に出席いただいていることをご了承願う。質疑は説明終了後をお願いする。

（執行部挨拶・紹介 崎浦商工労働部長）

（執行部説明 山田商工労働部次長）

○岩井豊太郎委員長

ただいまの説明について、質疑はないか。

○山内房壽委員

次世代エネルギー産業への参入促進とはどういったものか。

○河田新産業・エネルギー振興課長

ものづくり企業を対象に今後成長が見込まれる次世代エネルギー産業への参入を支援するもの。

○山内房壽委員

次世代エネルギーとは具体的にどういったものか。

○河田新産業・エネルギー振興課長

県内で創出しているものとして太陽光、風力、木質バイオマス、地熱、小水力である。

○広瀬修委員

水素は含まれないのか。

○河田新産業・エネルギー振興課長

今申し上げた県内で創出している再生可能エネルギーのほか、水素も含まれる。

○田中勝士委員

AI、ICT、DXについて、県として力を入れているが、どれくらいの予算を使っているか。

○郷産業技術課長

産業技術課では、主にソフトピアジャパンプロジェクトや製造業を中心とした産業のIoT導入やDXを支援している。県全体としての答えではないが、大きな事業として、中小企業等スマートワーク促進補助金、スマートワークIoT実践導入による生産性向上の支援、また、試験研究機関での関連の研究を含めると6億円を超える額となる。

○田中勝士委員

資料を見ても多岐に渡るが、部局トータルで把握している部署はないか。

○崎浦商工労働部長

総務部にデジタル戦略推進課が新しくでき、県全体のDXの計画を作る。商工労働部はその一部の産業のDX化について実施している。

○田中勝士委員

教育のAI、ICT導入、DXの取り組みなどは、県政の柱となる事業である。県立学校でタブレット、Wi-Fiなど、ICT教育を進めるために、どれくらい投資をしてきたのか。

○堀学校支援課長

県立学校では昨年度、生徒一人ひとりに配布するため、タブレットを約4万台導入した。また、一昨年度と昨年度で全教室にプロジェクタ、Wi-Fiの整備を完了している。今年度から教育総務課にICT教育推進室を設置して指導主事を配置し、各校の利用推進を図っている。また令和2年度第3次補正予算を活用し、新しい実習装置を整備する。

○田中勝士委員

BIM（建造物の特性をデジタルで表現する装置）、介護ロボット等の導入などを含めて、一通りの設備整備は終わるということか。

○堀学校支援課長

その通りである。今年度で新しい実習装置の整備を終える。

○田中勝士委員

新しい教育スタイルにより、通信、ソフトなどの経費が発生する。今後の使用料、新たな経費の発生見込み額を委員会後に教えてほしい。

○山内房壽委員

スマート林業という記載があるが、今後の木材の需要拡大に対してどのような取組みを検討しているのか。

○田中森林整備課長

アメリカ、中国の木材需要が旺盛である一方で、外材の生産量自体は伸びていないことから、輸入材が減少している。そうしたなか、県内の木材生産量を増加させるという観点からも、スマート林業を推進し、施業の効率化を進めている。具体的には、森林の状況を調査するためにドローンや森林GIS等を活用している。また、安全性の確保等という点で、携帯の電波が届かない地域でも使用できる特別な通信機器や、林業用無人化機械の導入を促進するために実証試験等も実施する。

○山内房壽委員

岐阜県には、大変多くの材木があるため、うまく活用していただきたい。

○伊藤正博委員

「清流の国ぎふ」創生総合戦略が見直しされると聞いているが、新成長・雇用戦略の策定スケジュールはどのようになっているか。

○桑田商工政策課長

創生総合戦略、DX推進計画の策定とも合わせながら、夏に向けて骨子をまとめ、年末に詳細をお示し、年度末の完成に向けて進めていくことを考えている。現在は、策定にあたって県内経済団体などから意見を聴取している段階である。

○伊藤正博委員

創生総合戦略やDX推進計画は議会の同意項目に入っているが、成長・雇用戦略は入っていないので、特別委員会において、その都度状況を聞かせてほしい。

また、航空宇宙生産技術開発センターの拠点施設が4月に開設したが、当センターではどのような学生を対象に人材の育成を行っているか。

○郷産業技術課長

4月に拠点施設を開設し、今年度から実習環境が本格的に整ったところであるが、昨年度の実績は、学部生向けのプログラムとして延べ253名、大学院向けに12名が受講したほか、リカレント教育として社会人技術者向けに県産業技術総合センターと連携し延べ396名に受講いただいた。

○伊藤正博委員

後程、253名のうち岐阜大学、名古屋大学の学生の内訳とリカレント教育を受講した社会人の内訳を教えてください。

○松村多美夫委員

県発注工事におけるBIMを活用したモデル工事とは、どのようなことを考えているのか。

○長尾公共建築課長

BIMとは、ソフトウェアの中で3Dの建物模型を作り、設計や施工に活用するものである。今回のモデル工事においては、設計、施工、その業務全てで導入するのではなく、設計なら基本設計業務、施工なら総合仮設業務において、BIMを試行的に活用することを考えている。

○松村多美夫委員

建築だけが対象なのか。設備も含むのか。

○長尾公共建築課長

設備も含め総合的に利用することがBIM活用のメリットになるが、現時点では建築の一部業務から段階的に進めていく。

○松村多美夫委員

県立高校の生徒を対象とした体験講座とは、どのようなことを行うのか。

○長尾公共建築課長

専門の講師を派遣し、BIMソフトウェアの特性や操作性を体験学習してもらうことを考えている。

○山内房壽委員

県の5Gの取組みを教えてください。

○桑田商工政策課長

5Gも含め、デジタル化のインフラとなるようなものは、まずは総務部デジタル戦略推進課において議論を進めていくことになる。なお、5Gについては、例えば工場における5Gの活用のほか次世代のWi-Fi6の活用など色々な選択肢があり、産業分野の活用については商工労働部としてもしっかり支援していきたいと考えている。

○山内房壽委員

我々も一昨年度、5G関連の視察も実施しており、活用方法として工事現場等における遠隔操作にも活用できることを教示いただいた。それらも含めた5Gの研究等については、より一層進めていって

ただきたい。

○広瀬修委員

農福連携において、障がいのある方の中には、農作業の得意な方がいる。障がい者の能力をどのように広げていくかということが大切である。福祉と連携して、それに合った人材を確保していくようお願いしたい。また、シルバー人材に関して、一部の介護施設では、新型コロナウイルスワクチン未接種の高齢者は採用しない扱いとしていると聞いた。就業意欲のある高齢者の足かせになるような課題の事前把握に努めていただきたい。就職氷河期世代への支援については、コロナ禍も相まってなかなか進まない中、今後どのように対応していくのか。

○広瀬労働雇用課長

昨年度、岐阜労働局と連携し県プラットフォームを設置しており、ここを中核に様々な施策を展開していく。新規事業として就職氷河期世代支援加速化事業交付金を設けており、例えば就職氷河期世代の実態調査、相談支援、社会参加の場の創出などを実施する市町村に交付金を出すもので、補助率3/4としている。また、引き続き、総合人材チャレンジセンターにおいて小グループの就活塾による伴走型の支援や、離職者を対象とした職業訓練として社会人ビジネス基礎、パソコン実習等の訓練も実施していく。さらに専用ホームページを設け、こうした施策を周知PRしていく。

○広瀬修委員

航空宇宙分野の考え方について、航空と宇宙は別だと考えている。ロシア、アメリカ、中国で宇宙が競争の戦場になってくるときに、県として航空だけでなく宇宙も前に進めるべきでないか。企業だけでなく、学生、大学、高校に支援できるような体制づくりをするべきだと思うが見解はいかがか。

○田上航空宇宙産業課長

2月18日に航空宇宙に関わる企業に集まっていたいただき、現状の確認、今後必要な取組みについて意見をいただく場を設けた。その中で、宇宙というのは日本や岐阜県においてもこれからというところがあり、コロナの中で夢を語れる、展望を描くことができるという意見をいただいたところ。現在、人材育成の視点も踏まえ、岐阜大学、岐阜高専、国際たくみアカデミーを中心に、小さな人工衛星の打ち上げプロジェクトの構想がある。地元企業の参加も必要となるため、各務原市の企業を中心に意見を伺い、今年度中盤あたりには事業の骨格を作れるよう進めているところである。

○広瀬修委員

サステイナブル社会推進に資する製品等の開発は工業系試験研究機関において、どこかの企業と組んで取り組むということか。

○郷産業技術課長

工業系試験研究機関において取り組む4つの研究テーマは、すべてに県内企業が関わっており、企業の課題やニーズを踏まえたテーマを設定しているほか、研究で出てきた成果を企業に評価してもらい、最終的には企業に成果を移転する。

○広瀬修委員

後程、どこの企業と取り組んでいるのか教えてほしい。

○岩井豊太郎委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって、所管事務事業の説明聴取を終了する。次に、「令和3年度委員会活動について」を議題とする。特別委員会の視察については、お手元に配付してある「委員会視察要領」、「委員会視察に関する申し合わせ事項」のとおりである。視察先等については、必要性を十分に勘案し、委員をはじめ、関係者と調整のうえ、決定していきたいと思う。詳細については、正副委員長に一任願いたいと思うが、これに異議ないか。

(「異議なし」の発言あり)

○岩井豊太郎委員長

意見もないようなので、これをもって、本日の委員会を閉会する。

産業競争力強化対策特別委員会

令和3年5月11日(火)
午前10時～
議会西棟3階 第2会議室

後藤 農政課 スマート農業推進 室長		長瀬 技術検査課 建設技術企画監		垂見 林政課 技術総括監		一柳 障害福祉課 社会参加推進 企画監		古田 地域産業課長		浦崎 県産品流通支援 課長
-----------------------------	--	------------------------	--	--------------------	--	------------------------------	--	--------------	--	---------------------

板垣 農村振興課長		大橋 農産園芸課長		渡辺 産業人材課長		郷 産業技術課長		田上 航空宇宙産業 課長		河田 新産業・エネ ル ギ―振興課長
--------------	--	--------------	--	--------------	--	-------------	--	--------------------	--	-----------------------------

井戸 農業経営課長		有田 高齢福祉課長		広瀬 労働雇用課長		久野 商業・金融課長		児玉 特別支援教育 課長
--------------	--	--------------	--	--------------	--	---------------	--	--------------------

長尾 公共建築課長		広瀬 技術検査課長		田中 森林整備課長		高橋 外国人活躍・ 共生社会推進課長		堀 学校支援課長
--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------------------	--	-------------

田口 農政課長		森島 商工労働部次長 (産業人材担当)		崎浦 商工労働部長		山田 商工労働部次長 産業イノベーション・ 未来産業活用 促進総括監		桑田 商工政策課長
------------	--	---------------------------	--	--------------	--	--	--	--------------

入口側

山内委員
広瀬委員
松村委員
渡辺委員

○
○
○
○

○ 安井委員
○ 恩田委員
○ 田中委員
○ (小川(恒)委員)
○ 伊藤(正)委員

○ ○

平岩副委員長

岩井委員長